

【美術博物館】山口県周南市花島町10-16 (0834-22-8880) <http://s-bunka.jp/bihaku/>【郷土美術資料館・尾崎正章記念館】山口県周南市富田永源 (TOSOH PARK 永源山内) (0834-62-3119) <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

## 生誕150年 松林桂月

周南市美術博物館では、郷土ゆかりの作家を中心に作品を収集し、収蔵しています。日本画では、徳山藩の御用絵師であった朝倉南陵・朝倉震陵をはじめ、大庭学僊おおほまがくせん、さらには山口県ゆかりの画家の作品を収蔵しています。その中の一人、松林桂月まつばやしけいげつ(1876~1963)は、明治から昭和にかけて活躍した、山口県生まれの日本画家です。明治9(1876)年生まれで、今年は生誕150年にあたります。

松林桂月は、山口県萩に、伊藤篤一いとうあついちの次男として生まれました。本名は篤。小学生の頃から、楠木正成などの武者絵を好んで模写していました。また、田能村竹田たのむらちくでんの門人、石川瓊洲いしかわじゆうの子と同級生であったことから、瓊洲の家に遊びに行き絵本を借りたり模写をしたりして楽しんでいました。塾などでは、「皇朝史略」や「日本外史」といった歴史書や、漢文も学んでいます。小学校を卒業後、村役場に就職します。当初は軍人志望でしたが、体が弱かったため断念し、画家を志すようになりました。この頃から「桂月」の号を使っています。やがて、村の貴族院議員に見込まれ、学資の援助を受け、明治26(1893)年に上京。翌年、南画家・野口幽谷のうこう(1827~1898)に師事しました。幽谷の師は椿椿山つばきんざん(渡辺華山の門人)で、桂月は華山・椿山の流れの伝統的な南画、精緻で華麗な花鳥画を学びました。のちに、同門の松林孝子(号は雪貞)と結婚、松林姓となります。

幽谷の没後は、独学で画技を磨きました。南画に近代的な写実性を加え、繊細でふるえるようなリズミカルな筆致により独自の画風を生み出します。花鳥画においても、濃彩華麗なものから、余白や空間を活かした淡い色彩のものへと変化していきました。

昭和33年(1958)には文化勲章を受章。昭和38(1963)年に86歳で亡くなるまで、南画の振興に尽くし、明治・大正・昭和と日本画壇を支えました。



松林桂月「行尋山水勝景」 1954(昭和29)年 紙本墨画淡彩 当館蔵



松林桂月「春秋二曲屏風」 制作年不詳 絹本彩色 当館蔵

南画は、中国の南宗画や文人画の影響を受けながら、日本独自の様式を追求した絵画です。江戸時代中期から、知識人を中心に盛んに描かれるようになりました。画中に詩が書かれていることがあり、詩、詩に相応しい書体、詩の世界の絵画化が調和している「詩書画一致」を理想としています。桂月も若い頃から漢詩を学び、作品にも詩が書かれているものが多くあります。「行尋山水勝景」(上図)には、険しい場所にあるすぐれた景色を尋ね行く様子が五言律詩で書かれています。

「春秋二曲屏風」(左図)は、右隻に春、左隻に秋の樹木や草花が描かれています。大画面で華やかさがあつ、余白によって静けさを感じさせます。左隻の紅葉は一枚一枚色合いが異なり、その一枚の葉も複数の色で描き、変化を繊細に表現しています。

4月1日(水)から開催するコレクション展では、松林桂月の生誕150年を記念して、当館が所蔵する桂月の作品も展示予定です。ぜひお越しください。(周南市美術博物館 学芸員 前山希望)

コレクション展 4月1日(水)~5月31日(日)【展示室3】

施設メンテナンスのため3月31日(火)まで臨時休館しています。



# 第34回林忠彦賞の授賞式を周南市で開催!

受賞者を一緒に  
お祝いしませんか

■ 受賞記念写真展 4月25日(土)~5月10日(日) ■ 授賞式 4月25日(土) ホテルサンルート徳山

第34回の受賞作品の発表は3月上旬の予定です。今回はどんな作品が選ばれたのでしょうか。

写真の三大賞に数えられる「林忠彦賞」を地元でより広く知っていただけるよう、授賞式を、周南市で開催します。どなたでもご参加いただけますので、みなさんにもぜひ一緒にお祝いしていただきたいと思います。

※受賞作品や授賞式の詳細については、3月上旬よりホームページ等でお知らせします。



昨年の受賞者 鶴巻さん 写真展会場で



授賞式にて(昨年)

## 林忠彦賞はこんな賞 —社会は心を撃つ写真をさがしています—

周南市出身の写真家・林忠彦の名を冠した「林忠彦賞」は、林忠彦が「太宰治」「坂口安吾」などの作品で戦後の写真界に颯爽と躍り出た、最もエネルギー溢る時代に照準を合わせ、「社会が求める、その時代を一番象徴する写真を選び出そう」をコンセプトとし、未来を切り開く写真家を見いだす賞です。1991年(平成3)林忠彦のふるさとである周南市と周南市文化振興財団が創設、今回で34回を数えます。

(選考委員(敬称略・五十音順))

■ 大石芳野 写真家 ■ 大西成明 写真家 ■ 笠原美智子 長野県立美術館館長 ■ 小林紀晴 写真家 ■ 有田順一 周南市美術博物館館長



林忠彦賞  
ホームページ



30年間で開催してきた  
展覧会のチラシの  
タペストリー

### 開館30周年

## ～あなたと美博の思い出～

Part 3

最終回!

美博は昨年9月に開館30周年を迎えました。30周年にあたり、皆さんと一緒に思い出をふり返られるよう、記憶に残る展覧会や、美博での思い出を募集しました。先月号に引き続き、寄せられたエピソードの一部を紹介します。(令和2年度以前に開催した展覧会のエピソードは、1月号と2月号をご覧ください)



びびびの美  
2025年9月前半号

### 令和4年度 /

#### ダヤンと不思議な劇場 池田あきこ原画展

- デートで来ました。(20代)
- (コロナ禍で)開催が延期されガッカリでしたが、時機をみて無事ダヤンに会えたー!!池田あきこ先生のトーク、サインは宝物です。これからもステキな美博に期待しています!!(50代)



▲トーク&サイン会のイベントにもたくさんの方が来られました。

### 令和5年度 /

#### ちびまる子ちゃん展

- 保育園のときに先生とみんなで行きました。また行きたいです。
- ちびまる子ちゃんについてとてもよくわかりました。ますます大ファンになりました。



◀P.3へ続く

LAWSON

# ローソンの ソフトクリーム

各246円(税込)

LAWSON 徳山動物園前店 0834-32-8363

※画像はイメージです。

## 美博クイズ~!(146) もんだい

まつ ばやし けい げつ う いま ねん  
松林桂月が生まれた、今から150年  
まえ めい じ ねん はぎ お おお  
前(明治9年)に、萩で起こった大き  
じ げん  
な事件はなんだろう?

令和5年度 /



写真展 岩合光昭の世界ネコ歩き2

●ネコの写真がかわいかった♡(10代)  
 ▶ネコの形のチケットがとても可愛くて、今でも手元に取ってあります。細部に至るこだわりがたくさん詰まっていることを実感しました。(20代)



令和5年度 /

見のがせない!  
日本の画家たち展

森本草介の作品があったのでビックリしました。私が一番好きな画家。



令和6年度 /

宮西達也の世界  
ミラクルワールド絵本展

●展覧会に行ったおかげで宮西さんの知らなかった絵本を知って、たくさん読むようになりました。(40代)  
 ●ふじさんファミリーおもしろかったよ。(6歳)  
 ●『おまえ うまそうだな』の絵がとても迫力がありました!(8歳)  
 ●宮西さんに会って直接エピソードを聞いておもしろかった。「ブタさんが〇〇しているところ」のライブペインティングで、僕が言ったことをその場で描いてもらえて嬉しかった!ティラノ大好き。(4歳)



▲ライブペインティングでの様子。来場された方のリクエストしたイラストをその場で描かれた宮西先生。

写真展 オードリー・ヘプバーン

つい最近のことですが、この展覧会で初めて来館しました。たくさんのおードリーの写真や作品が見られたのはもちろん、謙虚で誰にも優しいオードリーの人物も知ることができました。カフェの限定メニューのアイスも美味しかったです。(20代)



▲カフェテラスまでの展覧会限定メニューも人気でした。

令和7年度 /

令和7年度 /



エピソードの募集期間中に  
開催していた「やなせたかし展」の  
感想・イラストもたくさん届きました♪

●『チリンのすず』の絵本が心に残りました。アンパンマンが、どうやって出来たかわかりました。(10代)  
 ●「てのひらを太陽に」 とてもすてきでした。(7歳)  
 ●『やさしいライオン』が心に残りました。これからもアンパンマンが大好きです。(7歳)



番外編

常設展や美博での思い出も寄せられました♪

●林忠彦展を見に来て、徳山にもこんな人がいたんだと感動しました。  
 ●(林忠彦記念室の)パーカウンターがなんとも好きだった。ここで話して、飲んでいたのかと思うとワクワクした。(20代)



●最初で最後に母と二人で来た美術展(「ピカソとやきもの」)だったかもしれません。生まれて初めて二人で座って美術館の中の喫茶で、コーヒーを飲んで安らかな気持ちになりました。忘れられない思い出です。人生さまざまな出来事があった50年後にして、アーティストとしてこの先、生きていくことを誓いました。(50代)

●今日初めて伺いました。まど・みちおさんの大ファンで、憧れの地をようやく訪ねることができました。小さなものへの優しいまなざしと宇宙や数への好奇心は、今の時代にも大切なメッセージだと、日々かみしめています。私の人生の大切な師の一人です。素敵な絵の原画を見られて光栄でした。いつも心にまどさんを、です。(50代)  
 ●まど・みちおの作品、みた瞬間不思議な感覚を覚え、またとない時間を過ごしました。

たくさんのエピソードありがとうございました! これからも美術博物館をよろしくをお願いします。

ひばく 美博クイズ~! <146> こたえ

はぎ らん  
萩の乱だよ

まえ ばら いっせい めい じ せい ぶ たい ひん まん  
前原一誠をはじめとする、明治政府に対して不満  
を抱いた士族が反乱を起こしたんだ。桂月が生まれ  
たのは、明治になってからだけれど、まだ世の  
中が不安定なところもあったんだね。



永島孟斎  
「西国戦記録々伝 前原一誠」  
当館蔵

この街が  
チームの力になる  
心

WOMEN'S HANDBALL TEAM  
YMGUTS

YMGUTS VS AMPOS HANDS 福岡

2026年 3月14日(土) 会場 ZEONアリーナ周南  
13:30スローオフ

YMfg 山口銀行

## ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

施設メンテナンスのため臨時休館  
～3/31(火)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

企画展「松井黎光 書作展—書の歩み—」  
尾崎正章常設展「人を見つめて」  
～3/8(日)企画展 林忠彦写真展「東海道を撮る」  
尾崎正章常設展 季節を感じて「春」  
3/28(土)～5/17(日)

岩国

吉川史料館 ☎0827-41-1010

吉川広家公没後400年記念  
開館30周年記念展  
第三期 広家の関ヶ原 ～4/12(日)

防府

防府市地域交流センター(アスピラート)  
☎0835-26-5151防府市施行90周年記念  
ヨシタケシンスケ展かもしれない  
～4/12(日)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

第78回 山口県美術展覧会 ～3/15(日)

中原中也記念館 ☎0839-32-6430

企画展Ⅱ「中也、この一篇——  
「汚れつちまつた悲しみに……」  
～4/19(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

コレクション展「三輪窯—陶の造形—」  
～4/26(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

テーマ展示「海を拓いた萩の人々」  
～6/21(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

香月泰男 ヨーロッパへの旅  
3/4(水)～5/24(日)

下関

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「薩長盟約と長府藩」 ～4/12(日)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

## 周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)  
( )内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料
- ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日: 月曜日 ※ただし3/9～3/27は展示替え等のため休館



企画展

中・小展示室 3月8日(日)まで開催中

Matsui Reikoh

## 松井黎光 書作展

—書の歩み—

びびびの美 2026年1月後半号  
(解説をご覧ください)

展示風景



静と動が交錯する墨の世界。筆を走らせ生まれる気迫と余白に宿る無限の思い。書は心のかたちを映す鏡であり、言葉を超えた表現でもあります。

本展では、書家・松井黎光氏のこれまでの歩みと新たな挑戦を込めた作品を展示しています。一筆一筆に込められた思いを感じながら、書の世界をご堪能ください。

松井黎光氏 来館予定日

3月7日(土)・8日(日)  
※いずれも13:30～16:00

常設展 同時開催

大展示室

尾崎正章常設展「人を見つめて」

尾崎正章(1912～2001)は、身近な人物を多く描いています。人を見つめ、印象的な瞬間を捉えた尾崎のまなざしを、作品を通して感じていただければと思います。



展示風景

3月28日(土) ▶ 5月17日(日)

「東海道を撮る」  
林忠彦写真展

周南市出身の写真家・林忠彦が晩年、病魔と闘いながら完成させた『東海道』。写真集は亡くなる数ヶ月前に出版されました。助手や多くの写友に支えられて撮影した、林の執念の結晶でもある作品を展示します。



林忠彦 撮影「平安神宮」1990年

中・小  
展示室尾崎正章常設展 季節を感じて  
「春」 大展示室

令和8年度1回目は、「春」をテーマにお届けします。風にそよぐ菜の花や可憐に咲くけしの花。やわらかな春の光に包まれた作品の数々が、会場にあたたかな彩りを添えます。

「けしの花」1970年頃  
油彩・キャンバス

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。http://s-bunka.jp/kyoubi/



画して見ることもあります。そして令和8年度は、私が好きな時代劇俳優 松平健さんの『松平健 マッケンサンバコンサート2026』を開催することが決まりました。その他にも多種多様な公演が揃っており、中にはこの機会を逃すと次は難しいものもあります。少しでも興味がある公演がありましたら、ぜひ内容をチェックしてください。

(秋成)

ミニコラム  
ガス燈

だんだんと日が長くなり、春の訪れを感じる今日この頃。この季節はまた、番組改変の時期でもあります。今ある番組は最終回に向かい終わる寂しさを感じる一方で、新番組の宣伝が始まり日に日に期待が高まっている時期ですね。

この季節はまた、番組改変の時期でもあります。今ある番組は最終回に向かい終わる寂しさを感じる一方で、新番組の宣伝が始まり日に日に期待が高まっている時期ですね。